



ゆうがく

もうひとつの「見えない友」

山形大学小白川図書館の書庫の奥深くに、今から100年ほど前に出版された多数のドイツ語図書が眠っています。その数200あまり。それらは、今は手に入らないがゆえに貴重であるだけでなく、数々の出来事を目撃してきた、いわば歴史の生き証人でもあります。

時は第1次世界大戦。当時イギリスと同盟関係にあった日本は、「敵国」ドイツが東アジア支配の拠点としていた青島^{チンタオ}を攻撃します。ヨーロッパ大陸での戦闘に主たる兵力を投入していた青島のドイツ軍は非常に手薄であり、全力で臨んだ日本軍に到底太刀打ちできるはずもなく、決着はあっという間につきました。その後、この戦闘に参加したドイツ軍兵士および民間の志願兵たちは、捕虜（当時は「俘虜」^{ふりょ}）と言いました）として日本に連れてこられ、各地に建設された収容所で終戦までの日々を過ごすことになりましたが、この辺の経緯については、映画「バルトの楽園」ですすでにご存じの方もいらっしゃるかと思います。

これらの人々の他に、同じ船に乗って青島から日本に運ばれたものがありました。総計2万7千冊にも及ぶドイツ語図書です。ドイツ軍は、青島に駐留する兵士の教養あるいは息抜きのために図書館（「膠州図書館」）を建設していました。日本はその図書館の蔵書を接收し、捕虜といっしょに日本に運んだわけです。日本到着後、それらの本

は、ドイツ文学研究あるいはドイツ語学習のために、各大学・旧制高校等に分配されました。冒頭に述べたドイツ語図書は、その時旧制山形高等学校と山形師範学校に配分されたものです。

それらの本を手にとると、まるで100年前にタイムスリップしたかのような感覚を覚えます。見返しには、膠州図書館（ドイツ語でKiautschou Bibliothek）の蔵書印が未だ消されずに残っていますし、中には、当時のドイツ人のものと思われる書き込みがある本や、しおり代わりに使ったであろう紙片が挟まれたままの本もあります。故郷から遠く離れた青島で、彼らはどんな思いでこれらの本を読んでいたのだろうか — そんな時間を超えて（これらの図書の場合は空間も超えて）同じ本を手にとった「見えない友」に思いを馳せるのも、本の楽しみ方の1つかもしれません。

放送大学客員准教授
（山形大学学術研究院准教授
人文社会科学部）

渡辺 将尚





令和2年度 第2学期学位記授与式が開催されました

令和3年3月28日(日)午後1時から山形学習センター講義室におきまして、「学位記授与式」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮し、密閉、密集、密接という3密を避け、時間を短縮した上で、卒業生の参列に限定して行いました。

令和2年度第2学期の山形学習センターでは、教養学部卒業生30名、大学院文化科学研究科修了生1名が、学位を授与されました。当日は学歌演奏の後、出席された14名に安田弘法所長から学位記がお一人ずつに手渡されました。

様々なご苦労や困難を克服して、ご卒業・ご修了された皆様、誠におめでとうございます。

放送大学では、全てのコースを修了された学生について、放送大学名誉学生の称号を付与する制度があります。この度、平泉良一さんと吉野信次さんが授与されました。

また、山形学習センターでは、卒業時に特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生について、顕彰しています。今回は、3つ目のコースを卒業されました、大河原美紀子さんと高橋節子さんが、生涯学習奨励賞を授賞されました。

【教養学部】

- 生活と福祉コース …… 8名
- 心理と教育コース …… 11名
- 社会と産業コース …… 3名
- 人間と文化コース …… 3名
- 情報コース …… 2名
- 自然と環境コース …… 3名

【大学院文化科学研究科】

- 情報学プログラム …… 1名



学位記授与式を終えての集合写真



卒業・修了者体験談

大学院文化科学研究科

情報学プログラム 高橋 永子さん

私は、スキルアップのため、修士取得を目指し2年前に入学いたしました。

修士取得とはいっても、フルタイムワーキングマザーである状況で可能なのか？と思っている時に、職場の上司に「こういった学び方もある」と教えて頂いたことが放送大学を受験するきっかけとなりました。

在学中は、様々な年齢、職種、立場の方々より刺激を受け、優秀な教授にご指導をいただきながら、自分の興味関心のあるテーマを存分に研究し、「研究」という礎を築くことができました。

また、教育機関に勤務する私にとり、新しい学び方を体験することが出来たことも、財産となりました。オンライン授業では、精度の高い教材を用い、他の受講生の方とコミュニケーションを取りながら学ぶ体験をしました。このコロナ禍において、今後、さらに求められる学び方になっていくだろうと確信しています。

今後も、探究心を忘れずに勉強を続けていきたいと思っています。支えてくださった皆さまに感謝申し上げます。

和算(算額)との出会い

心理と教育コース 平泉 良一さん

59歳で退職し放送大学に入学したのが、2004年4月のことです。数学に興味があったので「自然の理解」を専攻しました。興味があったとはいえ、定時制高校卒業の私には理数系の大学に入学することは困難なことです。それを可能にしてくれるのが、放送大学です。わからないところは子供が使っていた教科書、参考書を見ながら学んでいきました。単位を落としていた「確率・統計の基礎」に再度挑戦、ようやく「数学と社会」のエキスパートを取得しました。

なぜ数学にこだわったか？というと、パソコンの表計算ソフト「エクセル」を使えば、数学がもつと分かりやすくなるのではないかとの思いがあったからです。そこで、エクセルを使った卒業研究に取り組んでみたいと思い、山形大学の脇先生に勧められたのが「和算」でした。最初は、どうなるか全く未知数でしたが、研究を進めるうちに、算額を解くのに、このエクセルが非常に適している事が分かり、現在も楽しみながら算額問題に挑戦しています。



熟達ハイクラスの先生から学ぶ

情報コース 吉野 信次さん

会社を定年退職して、暇つぶしとボケ防止に何かやってみようかと思っている時、放送大学を知り、入学試験が無い事に魅せられて軽い気持ちで入学しました。しかし、入学して改めて「学ぶこと」「何かにふれること」の面白さを知りました。幅広い知見と多面的な視野が得られる楽しみが有る事も分かり、専門性より汎用性、所謂ゼネラリストを目指し、複眼的・実践的スキルを身に付けようと、6コースで各相応の科目を選択し学びました。今、熟達ハイクラスの先生から、それを学んだ事は、非常に有意義だったと実感しています。又、様々な経歴・年齢の方々に接し、勉学に対する姿勢・情熱に感動を覚え、どれ程私の心の糧になった事か、言葉に表せません。

尚、私は選択しませんでした。在学生の皆さんには、是非、卒業研究にチャレンジして欲しいと思います。きっと、自分自身の考えがどんどん広がっていく事、そして貴重な財産になる事間違いないと考えます。



卒業体験談

生活と福祉コース 高橋 節子さん

放送大学に全科履修生として入学したのは、2011年4月です。そして「人間と文化」コースを専攻し、卒業することを目指しました。

以前から、日本文学について学びたいという思いがありましたので、学ぶことの楽しさを感じながら、日本文学関係の単位を修得しました。しかし、自分の興味関心だけの科目の履修だけでは、卒業達成には至りません。そんな中、卒業のためならばと、自分の得意としない分野も何とか単位の修得に努めました。様々な分野を学習することは、結果的に物の見方や考え方を広げるのに役立ったと思います。編入学という方法もあったのですが、入学して6年を要し、124単位を修得し最初のコースを卒業しました。いざ卒業となると、なんだか一抹の寂しさを感じ「社会と産業コース」に再入学しました。そして、今回「生活と福祉コース」を終えて、3コースを卒業することができました。

これからは、あまり卒業にとらわれないで、社会保障の分野についての関係科目を学びたいと思っています。





システムWAKABA、キャンパスメールの活用について

学修に関する大切な情報は、システムWAKABA(教務情報システム)やキャンパスメールで提供されます。日常的に活用する習慣を身に付けましょう。

システムWAKABA ログイン方法

- ① 放送大学ホームページ画面の右下「システムWAKABA」をクリック
- ② ログイン画面が表示されるので、「ログイン」をクリック
- ③ 放送大学認証システム画面が表示されるので、ログインIDとパスワードを入力

※ログインID及びパスワードは入学許可書に記載されています。

初期パスワードは速やかに変更してください。(変更手続きを行わないと無効になります)

キャンパスメール ログイン方法

- ① 放送大学ホームページ画面の右下「キャンパスメール」をクリック
→上記③画面に移行しますので、同様にログインIDとパスワードを入力



【ログイン後のシステムWAKABA、キャンパスメール画面】

ログインIDとパスワードを正しく入力し、「ログイン」をクリックすると、システムWAKABA、キャンパスメールのホーム画面が表示されます。それぞれの主な機能は次のとおりです。



【システムWAKABA ホーム画面】



〈主な機能〉

- ・学生カルテ
(学籍情報、履修情報、単位修得情報など)
- ・科目登録申請
- ・履修成績照会
- ・大学からのお知らせ
- ・質問箱
- ・放送授業、オンライン授業へのリンク

【キャンパスメール ホーム画面】



〈主な機能〉

- ・キャンパスメールの送受信
- ・大学からのお知らせ
- ・授業に関する連絡
- ・アンケートへの回答
- ・公開講座のご案内
- ・山形学習センターからのお知らせ



通信指導について

通信指導に合格することにより、単位認定試験の受験資格を得ることができます。下記の提出期間内に忘れず提出しましょう。

郵送による提出 → **5/14[金]～5/28[金]〈必着〉**

Web通信指導による提出 → **5/7[金]〈10:00〉～5/28[金]〈17:00〉**

※Web通信指導については、システムWAKABA「キャンパスライフ→学内連絡→通信指導の提出について」をご覧ください。



2021年度「学びのサロン」

2021年度の開催概要が決まりました。

今年からは

- ・年間を通して、月1回程度開催します。(できる限り 曜日・時間を固定)
- ・面接授業の開催されない時期には、土日等に開催します。

担当する先生	テーマ	概要	スケジュール(第1回) 基本的開催日
安田 弘法	ジミな昆虫の生き方を通じ研究の面白さを学ぶ	岩波ジュニア新書「博士が愛したジミな昆虫」(安田ら編執筆)を輪読し、身近な昆虫の多様な生き方を理解する研究を通じ、研究の面白さを学びます。	5月28日(金) 15:00~16:30 原則第4金曜日
近藤 慎一	生活の中の科学を考えてみよう	生活の中では、利用されている化学物質や科学技術は怖い、よくわからないという、漫然とした思いはありませんか?このサロンでは、皆さんと一緒に、学びたいテーマを見つけて、生活の中にある科学について考えてみたいと思います。ぜひ気軽に参加してみてください。	5月13日(木) 14:00~15:30 原則第2木曜
佐藤 寿晃	生活を支える福祉用具	障がい者や高齢者が在宅において安心して暮らすためには、生活環境を整備することはとても重要です。その中でも福祉用具は対象者の自立意識を高め、QOL向上を図ると共に介護者の負担を軽減するなど、今後さらに普及が予想されます。今回は、福祉用具の定義、種類、効果、使用する際の注意点などを、事例を通じて解説します。	5月2日(日) 13:00~14:00 原則土・日曜 (月1回)
藤田 洋治	『歌物語の世界』 -『大和物語』と 周辺の作品から-	古今集成立の頃から和歌が貴族達に流行します。そして、その和歌を中心とした短い話が「歌物語」で『伊勢物語』がその代表です。今回は、その当時の実名で人々が登場するもう一つの歌物語『大和物語』を読んでみようと思います。	5月13日(木) 10:30~12:00 原則第2木曜
関口 雄一	心理学研究への招待	心理学研究の古典から最新の論文を講読するサロンです。毎回、テーマとなる論文を決め、ディスカッションを行います。論文に出てくる統計も分かりやすく解説を行います。一緒に楽しく心理学研究の世界を体験しましょう。なお、受講生との話し合いによってテーマを一部変更する場合があります。	5月21日(金) 16:00~17:00 原則第3金曜日
渡辺 将尚	ドイツ文学の名作を味わう	名前は聞いたことがあるけれど、自分一人ではなかなか読む気になれない—そのような文学作品を毎回1つ取り上げ、私の解説および受講者のみなさんとの意見交換を交えながら読み解いていきます。毎回冒頭にあらすじの紹介や時代背景の説明を行い、作品の重要部分については邦訳のコピー等を用意しますので、事前準備は不要です。	5月14日(金) 16:30~17:30 原則第2金曜日
GLOAG (David) Douglas	英語でLet's talk トピックス	毎回、新しいトピックを取りあげ、いくつかの基本的な質問と回答(Q/A)に進みます。必要となる単語・表現を学びながらミニディスカッションで徐々に深く掘り下げていきます。プレッシャーのない環境で自分の意見を出し話しましょう。	5月11日(火) 10:30~12:00 原則第2火曜日

詳細な日程等は、学習センターホームページでご確認ください。参加申し込みは、事務室までご連絡ください。



安田所長の『ワクワク情報の小窓』



この『小窓』では、学生の皆さんと一緒に山形学習センター（山形SC）で行う企画等の紹介や、それらの現状及び進捗をお知らせし、情報を共有したいと思います。気軽にお付き合いください。今回は、今年度の企画の進捗及び2021年度の面接授業等を中心にご紹介します。

1. 今年度第2回「所長と学生の皆さんとお話会」の報告について

今年度第2回目の「お話会」を3月12日（金）、山形SCで開催しました。今回の「お話会」では、初めに昨年6月開催の第1回「お話会」の意見とそれへの対応を紹介。次に『進化する山形SC』として、今年度行った新たな試み『学びのサロン』や『人間学を学ぶ会』、さらに来年度の『面接授業』のトピックス等を説明。そして、最後が意見交換の「三製作」の「お話会」でした。

意見等は、「来年度、研修旅行の実施依頼」、「初歩のパソコン教室開催のお願い」、「多面的な情報発信の依頼」、「山形SCへ気楽に來られる雰囲気醸成」「山形SCの事務職員は、親切で温かい」、等々。

これらの意見等に対し「コロナが落ち着いたら研修旅行も再開予定。2月に2回、パソコン教室を開催し、今後も開催予定。SCへ気楽に

來られる方策として、『学びのサロン』等への参加がある。さらに山形SCでは、サークル活動もあるので、これらへの参加や自らサークル結成して、学生生活を楽しんで欲しい」等と応えました。当日は、8名の皆さんが出席され、有意義な情報及び意見交換の1時間でした。皆さんからの意見も参考に、皆さんが気軽に山形SCを訪問し、満足度が高くなるSCにしたいと思います。忙しい処、参加された皆さんに感謝です。



2. 2021年度の面接授業について

2021年度1学期の面接授業は、主に2020年度1学期に予定した授業です（2020年度1学期の面接授業は、コロナ禍で中止）。山形SCでは、「多文化共生センター」も目指しています。今年度の面接授業では、1) 英国やペルー出身教員の講義、2) 英国やシンガポールで博士号を取得した教員の講義、3) インドネシアやインドの留学生の講義補助等による国際色豊かな授業も予定。さらに『世界一受けたい授業』出演教授の講義や、『はじめての看護技術』、『情報処理入門』、『先端機構学に基づくロボット工学』、『実戦練習で学ぶ初級ドイツ語』、『東南アジア通史』、『高齢者の健康づくり』等々、新たな授業も開講予定です。これらは、主に2学期に開講します。是非、聴講してください。

3. 『致知』を読み、楽しく人間学を学ぶ会の紹介について

「有名な人、無名な人を問わず、どんな世界でも各界で一所懸命に生きている真実の人たちがいる。そういう真実の人を見つけ出し、その方たちの体験やそこで得られた英知に学ぼう」というのが、人間学の月刊誌『致知』です。

2020年10月から学生有志の皆さんと『致知』を読み、生き方について考える「人間学を学ぶ会」を始めています。これは、2ヶ月に1回、90分程度、『致知』から学び、参加者の意見から学ぶ、「人間学の学び」です。4月からは、参加者が1名増え、私も含め8名の有志で和気藹々、楽しんでいます。今年度は、『致知2月号』「特集 自靖自献」、榊原記念病院副院長 高橋幸宏さんと臨済宗円覚寺派管長 横田南嶺さんの対談記事『七千人の小児の命を救う中で見えてきたもの』を中心に始めます。参加を希望される方は、山形SC窓口にご連絡ください。お待ちしております。

4. その他

- (1) サークル活動は、学生生活を楽しく有意義にします。サークル結成を考えている方は、必要に応じ私の処にも相談にきてください。一緒に考えたいと思います。
- (2) 所長ブログ (<https://ko-bou.blogspot.com/>) を開設し、山形SCに関する多面的な情報も発信しています。乞う訪問！色々な悩み事等は、何時でも私の処へ相談にきてください。一緒に考えたいと思います。

キャンパススケジュール 〈令和3年〉 5・6・7月

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5/1[土]	夏季集中科目履修生受付開始
7[金]	【WEB】通信指導提出開始
8[土]・9[日]	面接授業(西上先生・佐藤宏平先生)
14[金]	【郵送】通信指導提出開始
15[土]・16[日]	面接授業(山田先生・中島先生)
22[土]・23[日]	面接授業(杉森先生)
28[金]	【WEB・郵便】通信指導提出期限
29[土]・30[日]	面接授業(丸山先生・三浦先生)

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

6/5[土]・6[日]	面接授業(佐藤博晴先生・佐藤学先生)
12[土]・13[日]	面接授業(菅藤先生)
19[土]・20[日]	面接授業(松本先生)
26[土]・27[日]	面接授業(森岡先生・佐藤智先生)

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

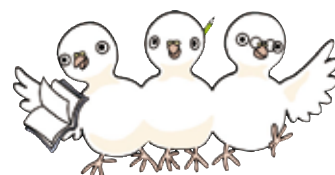
7/3[土]・4[日]	面接授業(笠原先生)
10[土]・11[日]	面接授業 (奥泉先生・栗山先生・半澤先生・中内先生・藤井先生)
13[火]～20[火]	大学院・学部単位認定試験(自宅受験)

 → 閉所日
 → 図書・視聴室のみ閉室
 → 学びのサロン開催日

※客員教員の勤務予定は、山形学習センターホームページでお知らせしています。
※スケジュールの変更は、山形学習センターホームページでお知らせしています。
定期的を確認してください。

< 図書・視聴室からのお知らせ >

- 面接授業での3密を避けるため、カレンダーの青塗りの日は以下の学生のみ利用できます。
 - ①面接授業の受講生
 - ②図書の貸出・返却の学生
- 4月からヘッドホンの貸出しを中止しています。視聴学習をする方はヘッドホン・イヤホンを持参してください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



すべてのお問合せ・資料請求・お申込みは

▶ インターネットでも出願や資料請求(無料)ができます! www.ouj.ac.jp

放送大学

検索

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル10階

放送大学山形学習センター

TEL 023-646-8836 FAX 023-646-8838

E-mail ygm-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamagata/>

